



三田の歴史・文化遺産 再発見の旅

保存版

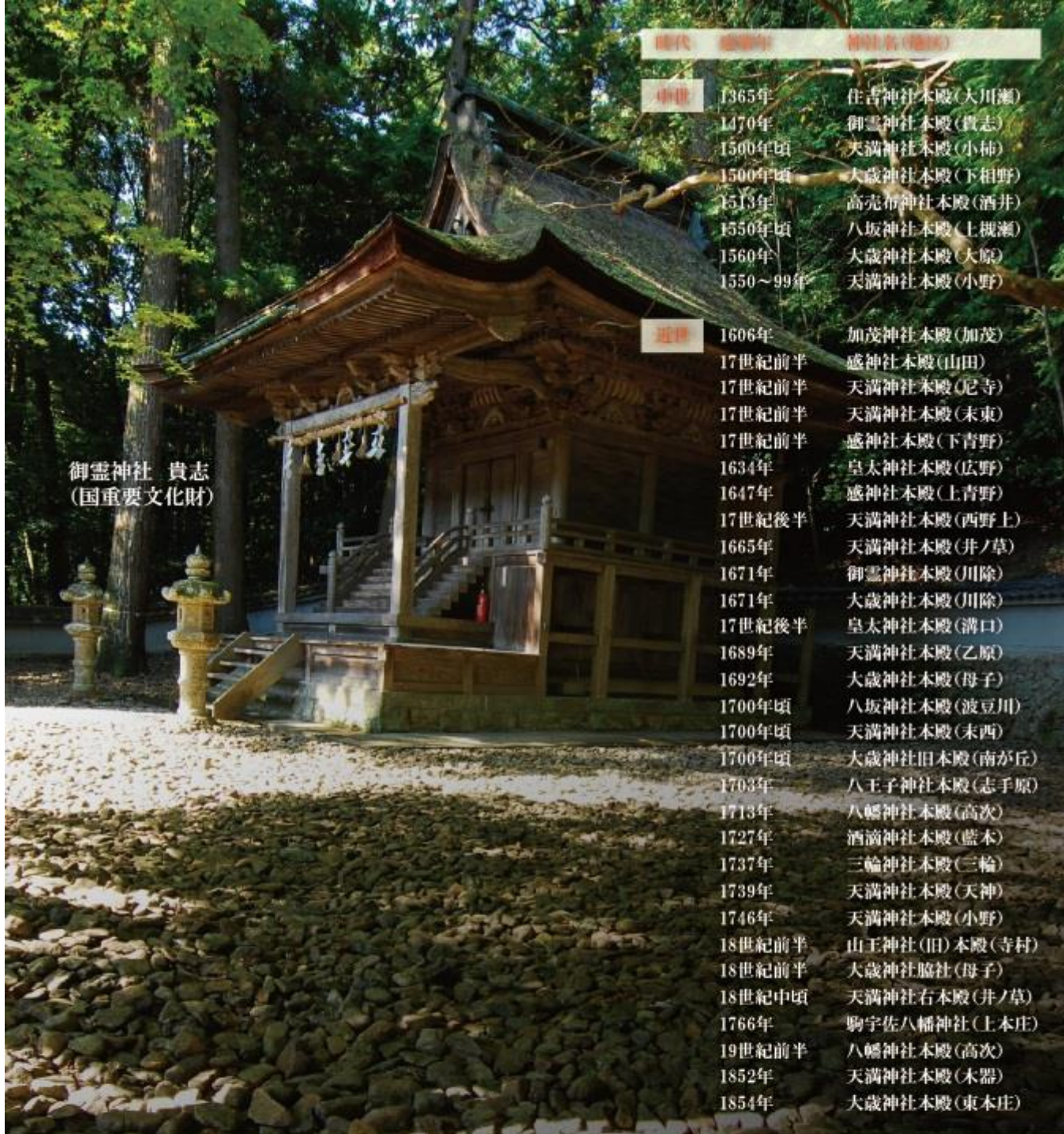
伝統文化を大事に守るまち

最古級1365年 神社本殿の宝庫  
パワースポット 9選  
日本一の田楽の郷

神々に守られ  
自然の中の歴史遺産に  
癒しと安らぎを得られる  
再生の聖地



スピリチュアルなまち  
三田  
兵庫県



御霊神社 貴志  
(国重要文化財)

時代	神社名(本殿)
建世	住吉神社本殿(大川瀬)
1470年	御霊神社本殿(貴志)
1500年頃	天満神社本殿(小柿)
1500年頃	大歳神社本殿(下相野)
1513年	高売布神社本殿(酒井)
1550年頃	八坂神社本殿(上槻瀬)
1560年	大歳神社本殿(大原)
1550~99年	天満神社本殿(小野)
建世	加茂神社本殿(加茂)
17世紀前半	感神社本殿(山田)
17世紀前半	天満神社本殿(尼寺)
17世紀前半	天満神社本殿(末東)
17世紀前半	感神社本殿(下青野)
1634年	皇太神社本殿(広野)
1647年	感神社本殿(上青野)
17世紀後半	天満神社本殿(西野上)
1665年	天満神社本殿(井ノ草)
1671年	御霊神社本殿(川除)
1671年	大歳神社本殿(川除)
17世紀後半	皇太神社本殿(溝口)
1689年	天満神社本殿(乙原)
1692年	大歳神社本殿(母子)
1700年頃	八坂神社本殿(波豆川)
1700年頃	天満神社本殿(末西)
1700年頃	大歳神社旧本殿(南が丘)
1703年	八王子神社本殿(志手原)
1713年	八幡神社本殿(高次)
1727年	酒滴神社本殿(藍本)
1737年	三輪神社本殿(三輪)
1739年	天満神社本殿(天神)
1746年	天満神社本殿(小野)
18世紀前半	山王神社(旧)本殿(寺村)
18世紀前半	大歳神社脇社(母子)
18世紀中頃	天満神社右本殿(井ノ草)
1766年	駒宇佐八幡神社(上本庄)
19世紀前半	八幡神社本殿(高次)
1852年	天満神社本殿(木器)
1854年	大歳神社本殿(東本庄)

住吉神社 大川瀬  
(国重要文化財)



高売布神社 酒井  
(国重要文化財)

三田の神社総数 53社

中世から近世末までの神社本殿遺構(40棟)が連続的に存在するところから、時代ごとの変遷を時系列に見ることができ、得難い特徴があります。特に中世の神社本殿8棟、17世紀前半7棟は他地域では見られない存在です。三田は、このように古いものを大切に、伝統を大事に守っている地域です。

## 神社本殿の宝庫

1365年～1854年  
時系列で並ぶ



子宝の木 天満神社(乙原)



2人の永遠を見守る2つの魂の山 八坂神社(波豆川)



かやの木 大舟寺(波豆川)



市之瀬)

三田の原風景 大日堂(小野)



神々に  
守られているまち  
ハワースポット9選

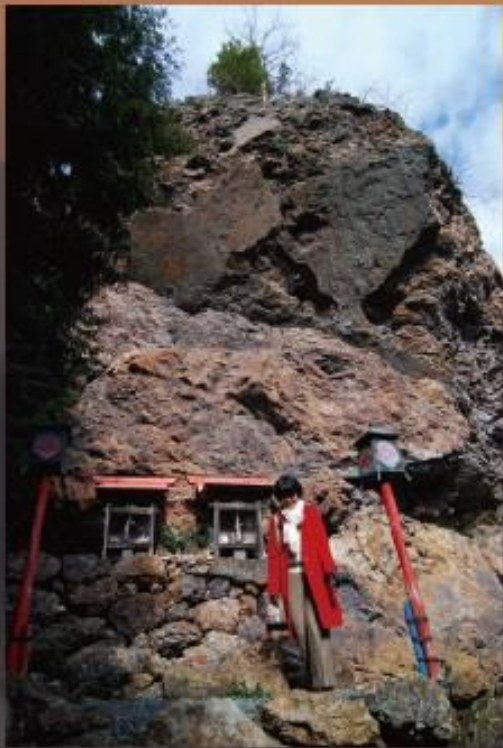
神社スポットに加え精霊の山  
(羽束山・大船山・千丈寺山・虚空  
藏山)を中心としたハワースポッ  
トにより市域全体が守られてい  
ます。そして自然の中の荘厳な  
歴史遺産に癒しと安らぎを得ら  
れる再生の聖地です。



三舟神社(小柿)



感神社(下青野)

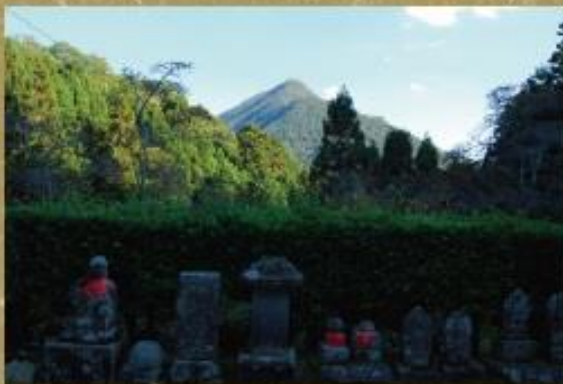


天狗岩稲荷神社(母子)



磐神社(

大船山を見る 友松寺(酒井)



磐座(いわくら)  
神の御座所。自然の巨石。  
磐神社  
天狗稲荷神社  
三舟神社  
感神社

磐座(いわくら)

# 日本一の田楽の郷

田楽は平安時代中期に田植えを囃す楽として誕生

三田市の秋祭りではホーホー踊り・ホーヤホー踊り・波宇也踊り(ほうやおどり)・デンデンホーなどと呼ばれる田楽が八か所で踊られており兵庫県下でも最大の保存数として残っています。市規模としては日本一の田楽の郷といえます。

三輪神社(三輪)  
波宇也踊り



天満神社(西野上)  
ホーホー踊り



天満神社(末西)  
ホーホー踊り



稲荷神社(福島)  
デンデンホー



加茂神社(加茂)  
ホーホー踊り



御霊神社(貴志)  
キシマイ



八王子神社(志手原)  
田楽・じゃきじゃき踊り



天満神社(末東)ホーホー踊り

## 神々への祭礼

三田市城の神社の代表的な祭礼は田楽・百石踊り等があります。毎年10月(百石踊りは11月)に各地域で行われています。代々受け継がれ伝統文化を大事に守っている地域です。



駒宇佐神社 百石踊り  
500年の時空を超えてよみがえる雨乞いの踊り



加茂神社 稲引き行事



八坂神社 お練り



高荒布神社 千本掲ぎ

三田市域は神社本殿の宝庫であるといつて過言ではない。総数八棟の中世の神社本殿が存在する。この数は極めて濃密な分布といえるだろう。また十七世紀前半の本殿も七棟もあって、これも他の地域では考えられないのこりのよさである。中世以降は規模の大きな村落や…地域には神社が祭祀されることが通例であるが、古い遺構が保存されることはきわめて少ない。なぜ三田市域にこれだけの古い神社が残っているのか…。…伝統として代々受け継がれ続けて、現在に至っていることは確かである。このような古いものを大切にすること、伝統を受け継ぎ守ることが、市域の広い範囲でおこなわれてきたことは素晴らしいことである。

三田市史 別編2 さんだの文化遺産 概説二から 平成14年7月1日発行  
監修 多淵敏樹(大手前大学文化学部教授・神戸大学名誉教授)

素晴らしいホーホー踊りの郷だった。形式田楽を含めたその数、八。兵庫県下で田楽を伝えるところはあと四か所。これを考えたら三田はすごい。民俗芸能としての田楽は、何しろ全国に六十か所ばかりしか残されていない。一市規模として、三田は日本一の田楽の郷といえた。

北摂・三田写真ガイド ホーホー踊りの郷 まえがきから  
武本俊文 圃六甲タイムス社 刊 昭和58年11月発行

三田は古くから市域全体で伝統文化を大事に守っています、それは大変素晴らしい、まちの誇りと考えています。そのことを伝えたく、このパンフレットを作成しました。

平成28年3月 三田の歴史・文化遺産再発見の旅 市民委員会  
富士が丘魅力あるまちづくりサークル

発行： 富士が丘魅力あるまちづくりサークル、  
三田の歴史・文化遺産再発見の旅 市民委員会

池田洋介 久藤宣機 青江征男 岩永日出登  
榎田清治 清水洋克 出合哲雄  
古家良和 山崎敏昭 渡辺利雄

後援： 三田市

